

議員提出議案第18号

総合支援資金及び緊急小口資金の特例貸付の受付期間延長等を求める意見書

上記の議案を提出します。

令和2年12月10日

中野区議会議長 高橋 かずちか 殿

提出者	中野区議会議員	伊藤 正信
		木村 広一
		ひやま 隆
		白井 ひでふみ
		大内 しんご
		酒井 たくや
		長沢 和彦

総合支援資金及び緊急小口資金の特例貸付の受付期間延長等を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国民の暮らしはかつてない苦境に立たされています。各自治体の社会福祉協議会が窓口となって実施されている総合支援資金及び緊急小口資金の特例貸付の支給決定は11月14日時点で約130万件、約4900億円に達しています。

特例貸付の受付期間は当初、7月末までとされていましたが、9月末、12月末と二度にわたって延長されました。受付期間の延長が多くの国民の暮らしを救うことにつながっています。

全国社会福祉協議会からは「『個人向け緊急小口資金特例貸付』等の償還業務を適切に実施するため、早期に償還免除の具体的取扱いを示すとともに、長期にわたり膨大な償還事務に対応できる体制を整備するため、必要な事務費を全額財源措置してください」との要望も上がっています。

緊急小口資金等の特例貸付については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や支援ニーズ等を踏まえ、受付期間を延長するとともに、膨大な事業量に対応するための事務費を大幅に積み増すことも求められます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束は見通せず、来年にかけ、これまで特例貸付を利用していなかった方も、新たに利用することが想定されます。

よって、中野区議会は、政府に対し、総合支援資金及び緊急小口資金の特例貸付の受付期間延長及び事務費の増額を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

年 月 日

内閣総理大臣

厚生労働大臣 あて

中野区議会議長名